

■ 2017年3月期 通期決算説明会 質疑応答の要約

ユナイテッド株式会社

2017年5月10日(水)に開催した、証券アナリスト・機関投資家向け決算説明会において、出席者の皆様からいただいた主なご質問と、当社の回答を以下にまとめております。

質問	回答
アドテク事業について	
Q1 来期見通しに関して、引き続き高い増収率を見込んでいるようだが、その背景について教えてほしい	<p>2017年3月期においては、アドテク事業売上高は毎四半期継続してしっかり伸びてきているが、今後の市場環境を勘案しても引き続き伸長するものと想定している。</p> <p>2018年3月期は事業体制を更に強化して、市場規模の拡大を上回る成長を目指す。また、下期からは動画広告事業の売上が貢献してくる見通しとなっている。</p>
Q2 VidSpotの先行投資について、その内容と金額感を教えてほしい	<p>具体的な金額感については非開示。</p> <p>動画広告分野においては、まずは広告案件及び広告在庫量を拡大させるため、広告主及び媒体社との各種取引施策を先行投資として実施することを考えている。</p> <p>また、動画広告分野を中心としたアドテクノロジー領域全体での人員強化により、プロダクトの改善や営業体制の強化を計画している。</p>
Q3 アドテク事業で動画広告以外の部分における今後の粗利率について、どのように予想しているか教えてほしい	<p>動画広告分野以外のところでは、基本的には粗利率の変動要素はそれほどないと考えている。</p> <p>よりBid数が伸びて広告効果も上がってくれば、粗利率が上がる余地もあるが、現状動画広告分野を除いたところでは、2017年3月期時点の粗利率から大幅に変動することは想定していない。</p>

スマホコンテンツ事業について

Q4 「クラッシュフィーバー」の来期売上高の四半期推移のイメージを教えてください

2017年3月期上期においては、大型プロモーションの実施により売上規模を伸ばしてきたが、下期から2018年3月期にかけてはプロモーション投資の最適化で利益を伸ばしていくフェーズとなる。

来期の四半期トレンドについて具体的な金額は申し上げられないが、国内版と繁体字版については、プロモーションの最適化で利益の最大化を目指す方針である。グローバル版については、特定の国で成果が出てきており、アップサイドも期待できる。

総じて、中長期で利益をしっかりと出していくということを運営方針としている。